

# 所管事務調査報告

産業建設常任委員会

平成29年9月15日

調査事項	地域公共交通について
調査期間	平成27年12月～平成29年9月
調査項目	山陽小野田市に即した公共交通形態を求めて
調査によって明らかになった事項	<p>○執行部の姿勢について</p> <p>数年前より、議会側から「地域公共交通の改善」を強く指摘してきたにも関わらず、平成32年までの「地域公共交通網形成計画」は策定したものの、スピード感を求める市民感情に配慮があるとは思えない。危機感さえ感じられないものである。</p> <p>○委員会の対応について</p> <p>一昨年、新体制になって以降「公共交通・山陽小野田市モデル」を求め、委員会としても知恵を出し、汗をかこうと意思確認をして、先進地の視察や市民との意見交換会などを通じて得た情報をもとに議論を重ねてきた。最終目標を執行部へのアイデアを含めた提言提出としたが、至らなかったのは残念としか言えない。</p>
今後の委員会の対応又は結論	<p>委員会としての要望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「地域公共交通網形成計画」の早期見直しを行い、実効性のある計画を実証運行と並行して実施し、改善を重ねること</li> <li>・ 既に待ったなしの状況にあるということを認識すること</li> <li>・ 「山陽小野田市モデル」の作成には体制の見直し、専門家の活用も検討すること</li> <li>・ 路線バス中心の公共交通は市民ニーズに合わないので、路線バスの維持ではなく、市民にとっての利便性を念頭におくこと</li> <li>・ 交通利便性の格差是正を図ること</li> </ul>

- |  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 乗り継ぎによる料金負担の軽減を図ること</li><li>・ 山口東京理科大生にとっての利便性を考慮すること</li><li>・ 補助金の有効活用をすること</li><li>・ まず、動くこと</li></ul> <p>※ 「地域公共交通の改善」は最重要案件の一つとして次の議会に調査を申し送るものである。</p> |
|--|--|